



NO.1028

2015・7・19

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
五四三・四四五八
F 四三・四四五七



戦争法案反対デモ行進に100名!

7月11日、「戦争法案阻止市民デモ行進」が100名の参加で行われました。

当日は天候にも恵まれ午後2時30分には、団体をはじめ個人参加の市民が集まりました。集合時間より30分以上も前から来ていた参加者は、「デモ行進は久しぶりだ、今日は現役の時に着ていた組合のジャンパーを着てきた」とワクワクしていました。また、組合時代の仲間にも久しぶりに会い交流を深めている様子も見られました。

最初に、松浦敏司デモ行進実行委員長から開会のあいさつがあり、網走労連、新日本婦人の会、平和憲法を守る網走の会、年金者組合、生活と健康を守る会、「平和の願いを網走から」の川原田市議から決意表明がありました。

熱い中でのデモ行進となりましたが、デモ行進を無事に終えた参加者は、暑さによる疲労感に隠せないようでしたが、みなさん清々しい笑顔に包まれていました。

ある公務員の方は「久しぶりにデモ行進をしたが、手作り感があって実に良かった。アナウンスも爽やかで良かった。とても楽しかった。また、やりたいです」。また、ある女性の方は「初めての取り組みで不安だったが、いろんな方たちが参加してくれて良かった」。別の女性の方は、「途中で市民が『参加していいですか?』と参加してくれただことや、最後の方で車に乗った若者から『頑張ってください』と言われ嬉しかった」と興奮気味に感想を話してくれました。実行委員会は、反省会を開いて今後の取り組みについて話し合うことになると話しています。



「戦争法案絶対反対! 憲法を守れ!」と声を出す参加者

戦争法案 強行採決!

安倍自公政権は15日、多くの国民が反対する中、衆議院安保法制特別委員会が審議を打ち切り強行採決を行いました。安倍首相自身が、総括質疑の中で「国民の理解が十分得られていない」と述べていたにもかかわらず強行採決しました。国民世論で廃案にするため力を合わせましょう。

菊地ひろし まっしぐら!

10日、私の携帯に「明日の『戦争法案』反対のデモ行進の事で伺いたい」と知らない女性から電話が入りました。「戦争にだけはなつて欲しくないという気持ちは一緒ですが、共産党がやるのですか?」と少し戸惑っているようでした。「共産党は呼びかけをしたけれど、7団体と個人の人たちが集まり実行委員会を作り計画した」ことを話し、気軽に参加してくれるように話しました。

電話をかけてくれた方が参加したかどうかはわかりませんが、何十年も今回のようなデモ行進をやったことのない網走では、実行委員会に参加した者でも手さぐりでした。私も今回事務局を担当しましたが、初めての経験でした。終わってから多くの参加者が、「知らない人もたくさんいたし、小さなお子さんと一緒に参加した若い女性もいたし、戦争法案を廃案にするために又やれるといいのね」と話していました。決意を新たに嬉しく思った一日でした。

松浦敏司 さぞき 奮戦メモ

安倍首相は、主義について理解していな

いのだと、今回の戦争法案の審議と強行採決の様子を見ていてつくづく感じました。多数決で決めることを民主主義という方がいますが、その論法で言う強行採決も民主主義になつてしまします。民主主義とは、「議論を交わして多数意見が少数意見を説得する」ということであつて、はじめて最終的に多数決で決めるというものだと思つています。この間の安保法制をめぐる議論で、最近の安倍首相の答弁は、「あーでもないこーでもない」と長々と言葉をならべて、国民のみなさまに丁寧な説明をしてご理解をいただきたい」と、結局、何も答えていません。憲法違反の法案は、議論すればするほど答弁できなくなるので、このような答弁になるのです。もう廃案しかありません。

流水

一人の女性がつぶやいた「田舎で育つた私は子どもの頃に よく笑った! 大口あけて。よく食べた! ご馳走じゃないけどお米のご飯を。そしてよく遊んだ! 陽が沈むまで真っ黒になつて。そんな子どもの頃が懐かしい。大人になった今笑うことを忘れてしまいがちの辺りに何か不快なものが渦巻いてモヤモヤしているの」と。こんなつぶやきを聞いたとき、私の胸の辺りにも何か不快なものがあるのを感じた。▼若い頃から休むことなくずっと働いてきたのに受け取る年金は少なく、その上年齢減らされていくのだから毎日の生活は節約に心がけ、国や市に納める各種料金の支払いが忘れてはならないと頭の中はいっぱいの善良な市民はとも気楽にしておれない。そして今、70年も続いた平和な国が同盟国? アメリカのため戦争をしようとしているのかかわらずに国民の命、とりわけ子や孫の命が紙屑のように扱われる。そんな理不尽なことについていいのだろうか▼ここまで考えてくれば胸のモヤモヤは国民の願いとは逆の方向に舵を取り国民の声を聴かない政治家が内閣を握っているからだと思う。▼子どもの頃遊び惚けた野山も開発の手が伸び姿を変えているが心の故郷を次世代に残したいものです。(U)